

AFJ 連続セミナー

# どうするオバマ、どうなるアメリカ

## 第1回【リベラルの視点】

社団法人アジアフォーラム・ジャパン（AFJ）は来る12月15日と来年1月の2回にわたり、連続セミナー「どうするオバマ、どうなるアメリカ」を開催します。このセミナーの目的は、今年5月にAFJがワシントンで開催した保守系およびリベラル系ジャーナリストとの「政策知識人」に関するワークショップの成果を踏まえ、今後のアメリカ政治の行方に関する議論を深めることにあります。第1回【リベラルの視点】には、アメリカを代表するリベラル系言論誌『ニュー・リパブリック（The New Republic）』誌から3名のジャーナリストをお招きします。

\*第2回【保守の視点】は1月中旬開催予定です。

\*このセミナーは笹川平和財団（SPF）の助成・協力を得てAFJが開催します。

<来日予定パネリスト>



**フランクリン・フォー**  
『ニュー・リパブリック』誌  
編集長



**ジョン・B. ジュディス**  
『ニュー・リパブリック』誌  
シニアエディター



**ブラッドフォード・プラマー**  
『ニュー・リパブリック』誌  
アシスタントエディター

■ 12月15日（水）15:00-17:00

■ 日本財団ビル1階ホール（港区赤坂1-2-2）

<同時通訳（日・英）あり／参加無料>

\*参加申込はこちらから→<http://asianforum.jp/>

主催：社団法人アジアフォーラム・ジャパン（AFJ）

電話：03-5570-0321 Email：event@asianforum.jp



\* 駐車場はございません。

## 『ニュー・リパブリック』誌 *The New Republic (TNR)*

96年の歴史を誇るアメリカのリベラル派を代表する名門言論誌。ジャーナリズム論の古典的名著『世論』で知られるウォルター・リップマンと、アメリカ進歩主義の理論的支柱であったハーバート・クローリーによって創刊された。

爾来、『ニュー・リパブリック (TNR)』誌を読むことは、アメリカのリベラルにとって一種のステータス・シンボルとなっており、特に1960年代には「ケネディ大統領の愛読誌」として、当時の進歩的な学生がこぞって購読したと言われる。

TNRは、ほぼ全ての大統領選挙で民主党候補を支持してきた。2008年選挙でもオバマ候補を支持し、現在のオバマ政権の中枢に幅広い取材ルートを持つことで知られている。

しかし、その主張は常に民主党と歩調を合わせるものではない。中絶、同性婚、環境などの社会問題ではリベラルな立場をとる一方で、財政問題では中道に近く、バラマキ型福祉政策には批判的な立場にある。外交に関してはトルーマン政権の冷戦政策を支持して以来、反戦派や平和主義者とは一線を画し、自由・民主主義・人権の観点から必要な武力行使をしばしば支持してきた。

こうした姿勢によって、TNRは保守派・共和党支持者からも一目置かれる存在となり、特に1980年代には、保守派のコラムニストが頻繁に寄稿した。また、レーガン共和党政権時代のホホワイトハウスはTNRを毎号20部購読していたと言われている。

---

### ■ フランクリン・フォー (Franklin Foer) 編集長

2006年に31歳の若さでTNRの編集長に就任した気鋭のジャーナリスト。いまやアメリカのリベラルを代表する政治ジャーナリストの一人であり、*New York Times*紙や*Washington Post*紙をはじめとする主要メディアにもたびたび寄稿している。無類のサッカーファンでもあり、著書*How Soccer Explains the World: An Unlikely Theory of Globalization* (邦訳『サッカーが世界を解明する』)は、テーマの斬新さと分析的確さが高く評価され全米でベストセラーとなった。現在は、2012年頃の出版に向けて次の著書に取りかかっている。コロンビア大卒業。

### ■ ジョン・B. ジュディス (John B. Judis) シニアエディター

1960年代の後半から活躍するリベラル言論界の重鎮。伝説的な左派言論誌*Socialist Revolution*誌を創刊するなど、20代から西海岸の左派言論グループの中心人物として活躍。80年代以降は*Washington Post*紙や*Foreign Affairs*誌などのメジャー紙・誌に活動の場を広げる。88年出版の最初の著書で、保守派知識人を代表するウィリアム・バックリーをとりあげ大きな話題となった。02年に政治学者レイ・テシェーラと出版した*The Emerging Democratic Majority*は、*Economist*誌が選ぶ年間最優秀作品の一つとなる。カリフォルニア大学大学院修了。

### ■ ブラッドフォード・プラマー (Bradford Plumer) アシスタントエディター

TNRの若手エディターのホープ。主にエネルギー問題や環境問題を専門とし、TNRのwebサイトに自身のブログ*The Vine by Bradford Plumer*を持つ。また、最近では保守派の動向に関するコラムをTNR本誌で発表するなど、専門分野以外にも言論活動の幅を広げている。外部メディアへの寄稿も多く、TNRと双壁をなすリベラル誌*American Prospect*誌や*Journal of Life Sciences*誌、*Mother Jones*誌などでも活躍している。